

活動再開後の注意点について

新型コロナウイルス感染防止に向けて、活動自粛にご協力いただきありがとうございます。全国に出ていました「緊急事態宣言」の解除を受け、感染予防の観点を踏まえながら、各地でいろいろな活動が徐々に再開の道につき始めています。多くの施設も随時利用が可能となってきています。

つきましては、次のような点につきまして留意いただき、京都府内各自治体教育委員会からの通達などを順守し、各地域の実情に応じて工夫ください。基本は『三密』を避けることです。

【練習参加前】

- 練習当日に検温を実施し、発熱や風邪のような症状が見られる場合や体調がすぐれない者の参加は控える。
- 家からマスク着用で来る。

【練習環境】

- 体育館は、換気のために時々若しくは常時、窓や扉を開ける。

【練習中】

- 練習再開後のはじめは、練習時間を短めに設定し、徐々に体を慣らしていくようにする。当面は、練習時間をおおむね2時間程度にとどめる。
- 選手同士が接触することがないように練習方法を工夫する。また、時間を分ける、学年を分ける等で、なるべく少ない人数で活動できるよう工夫する。そして、ソーシャルディスタンス（おおむね2メートル）を意識する（呼吸が激しい場合にはさらに距離を取るように）。
- 飲み物は個人の水筒やボトルを使用して、共有しない。
- 汗拭き用のタオルは個人用とし、共有しない。
- 大声での発声、応援、会話を自粛する。指導場面においても同様とする。

【練習中のその他】

- 熱中症対策も忘れずに行う。水分補給や休憩をこまめに行うようにする。
- 手指消毒剤を設置し、こまめに手洗い・うがいを行う。

【練習後】

- 腕や手洗い・うがい・水での洗顔を必ず行う。
- 帰りもマスクを着用する。
- 施設使用後は、使用した施設や設備を清拭消毒する。

【その他】

- 当分の間、府外への遠征や合宿は実施しない（日小連や近畿各府県と歩調を合わせる）。
- チーム所在地の自治体の方針をよく理解して遵守する。

令和2年5月27日

京都府小学生バレーボール連盟
会長 臼井 康治
理事長 西村 武志